

人がつながり ともに創る みんなの学校

これからの時代において、複雑化・多様化する教育課題に適切に対応し、一人ひとりの子供に寄り添った質の高い教育を提供するためには、学校、保護者、地域、それぞれが多様な知識や経験を持ち寄り、地域全体で子供たちの学びや成長を支えていく必要があります。

本市では、学校づくりの指針として「人がつながり ともに創る みんなの学校」を定め、子供たちを中心に据えて、保護者、地域と連帯感をもって教育活動に取組む学校づくりを進めています。学校づくりの指針のもと、人と人とのつながりの輪の中で子供たちの生きる力を育てていこう、取組みをさらに推進していきます。

ICTの利活用

- 小中学校の一部の単元・題材について、主体的・対話的で深い学びを実現する授業のモデルとなる“授業パッケージ”を作成



- “授業パッケージ”には、学習用パソコンの活用場面や個別最適な学びと協働的な学びの場面例を含んだ毎時間の指導案やワークシートなどを掲載



令和の時代における「学校の業務と活動」

- 授業時間数の適正化
(小学校:標準授業時数+40、中学校:標準授業時数+30)
- 1日の学校生活の時間の見直し
(中学校は17時完全下校を推進)
- 保護者負担を考慮し、希望制による家庭訪問を実施



学年(チーム)担任制の導入

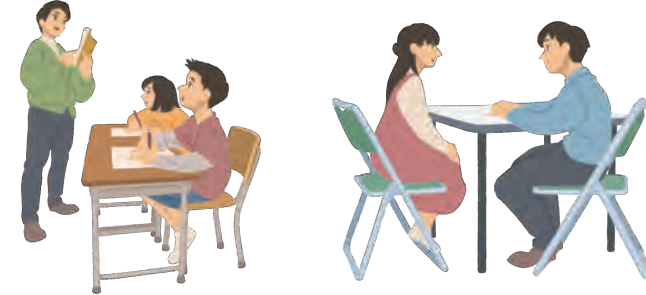
- 児童生徒の変化に気づく機会を増やすとともに、多くの教職員との活動や対話を通じて、多様な能力の伸長を図り、健やかな成長につなげるため、小・中学校及び義務教育学校を対象に、学級担任を固定せず、学級における指導等の業務を複数の教員がローテーションで担当する「学年(チーム)担任制」を導入

【2024年度モデル実施校】9校



不登校等の児童生徒に対する支援

- 全小中学校において、自分の学級に入りづらい児童生徒のための「校内サポートルーム」を整備し、支援員を配置
- 不登校に関する総合相談窓口として「不登校支援相談センター」を設置



採用前研修の実施

- 安心して1学期をスタートできるよう、採用前の2～3月に、実践的指導力を学べる研修を実施
- 受講者には研修参加日数に応じて報酬を支給
- オンデマンドでの受講も可能

【研修実績】学級づくり、授業づくり、学校現場研修 など



2025年度採用選考 主な変更ポイント

- ① 試験スケジュールの前倒し
- ② 加点制度の見直し
 - ・加点の引上げ ・司書教諭資格所有者加点の新設 ・書道教諭免許所有者加点の廃止
- ③ 大学等推薦区分の見直し
 - ・推薦人数上限の撤廃(過去3年の教員採用選考において、大学等の推薦を受けた者の合格実績のある大学等が対象)
- ④ 「大学3年生等早期チャレンジ選考」の実施

採用スケジュール

出願期間	4月10日(水) - 5月10日(金)
	↓
適性検査	6月7日(金) - 6月14日(金)
	↓
第1次選考 筆記試験	6月15日(土)
集団面接試験	6月28日(金) - 29日(土)
	↓
第1次選考結果発表	7月17日(土)
	↓
第2次選考 実技試験	7月20日(土) - 8月17日(土)
個人面接試験	7月29日(月) - 8月10日(土)
	↓
最終結果発表	9月中旬
	↓
新規採用事前セミナー	2025年2～3月頃
	↓
採用	2025年4月1日予定

神戸市の教員・学校園

校種	教員数	校園数
小学校	5,153	162 分校1舎
中学校	2,683	83 分校3舎
義務教育学校	122	2
高等学校	714 定時制185名舎	8 定時制3舎
幼稚園	222	32
特別支援学校	804	6
合計	9,698	293

(教員数は2023年5月、校園数は2024年4月の数値)

神戸市教員の初任給等

校種	大学院修了(修士)	大学卒	短大卒
小・中学校	285,231	263,282	239,453
高等学校	281,270	265,229	-
幼稚園	264,644	249,169	224,974
特別支援学校	297,442	274,561	249,714

※2023年度給与ベース。ただし、給与改定される場合があります。
 ※初任給等は、給料、教職調整額、地域手当、教員特別手当等の合計額(月額)です。
 ※その他、期末勤勉手当、通勤手当、扶養手当、住宅手当等が支給されます。

神戸市教育委員会事務局総務部教職員人事課(任用担当)
 〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1丁目3番3号
 神戸ハーバーランドセンタービル ハーバーセンター4階
 TEL (078)984-0636 FAX (078)984-0650
 採用HP <https://www.city.kobe.lg.jp/a55153/shise/shokuinsaiyou/kyouiku/saiyou.html>
 2024年4月発行 神戸市教育委員会事務局総務部教職員人事課



採用HP



この印刷物は、印刷物の根拠をリサイクルできます。

神戸で先生になる。



2025年度(2024年度実施)

神戸市教員採用 選考案内

出願受付期間(電子申請)

2024年

4月10日(水)～5月10日(金)



神戸市の目指す人間像

心豊かに たくましく生きる人間

次代を担う子供が、よりよい社会と幸福な人生を自らつくり出していくためには、自他を尊重し、互いに知恵を出し合って困難な課題を解決していくことが重要です。それには、確かな学力、健康・体力とともに、様々な体験を通して豊かな人間性を養い、自ら目標に向かってたくましく生きる力を育む必要があります。これらを踏まえ、「心豊かにたくましく生きる人間」を神戸の教育が目指す人間像として掲げます。

神戸市の教育ビジョン

自他を大切に 自ら考え 未来をつくる

変化が激しく予測困難なこれからの時代において、今後5年間、どのような教育を行い、どのような力を育てていくのか、学校関係者だけでなく、保護者をはじめ市民と共有し、ともに神戸の教育を進めていくため、第4期神戸市教育振興基本計画において、新たに教育ビジョンを策定しました。自他を大切に、多様な仲間とつながり、支え合い、対話を重ねる経験を通じ、自律心や社会性、協調性を育むとともに、子供たち一人ひとりのよさや個性を伸ばし、自ら学び、自ら考え、主体的に行動し、未来の創り手となるよう、教育の充実に取り組みます。

- 基本政策① 子供が主役のこれからの学び
- 基本政策② 一人ひとりに応じたきめ細やかな支援
- 基本政策③ 安全・安心で過ごしやすい環境づくり
- 基本政策④ 子供に向き合い寄り添える学校づくり
- 基本政策⑤ 地域とともにつくる開かれた学校

神戸市の求める人物像

豊かな人間性にあふれ、
子供に寄り添うことができる人

自律心を備え、多様性を尊重し、
協調・協働できる人

自らの資質・能力向上のため、
学び続けることができる人

子供に対する深い愛情と思いやりを持ち、いかなる困難にあっても子供の笑顔と成長につながる選択をできる人を、私たちは求めています。

常に高い倫理観と規範意識に基づいて行動するとともに、多様な他者との対話やつながりを深め、互いを理解し尊重しながら、協調・協働できる人を、私たちは求めています。

時代の変化とともに学校教育に求められる役割や課題が多様化するなか、自己研鑽のために努力し続けることができる人を、私たちは求めています。



先輩たちからの Message

神戸市立学校園の各校種で活躍する先輩教員が、教員を目指したきっかけや日々の心掛け、そして働くなかで感じていることなどについてお伝えします。

- 質問1 やりがいを感じる時はどんなときですか。
- 質問2 日々心掛けていることはどんなことですか。
- 質問3 今後どのような教員になりたいですか。



金澤 日那 | 2023年度採用 小学校教諭区分

- 質問1 子供たちが「楽しい」と言ってくれる授業ができた時です。1日のなかで感じる「楽しい」が多ければ多いほど、子供たちの表情は輝きます。もっと多くの「楽しい」を与えられたらと日々試行錯誤しています。
- 質問2 クラスの子供たち全員と1日1回は会話をすることで。ちょっとした会話でも、些細な様子の変化に気付くことがあります。
- 質問3 子供たちの力を最大限引き出せるような教員を目指しています。毎日の「できた!」を積み重ねて、学校を「楽しい」と感じる子供が1人でも多く増えてほしいと思っています。



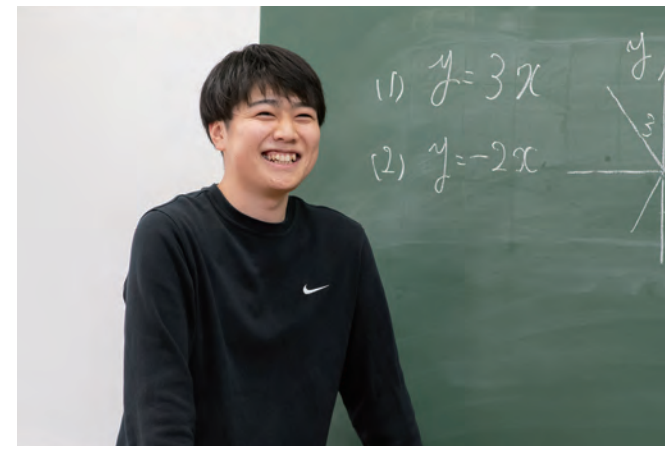
松本 緋奈 | 2023年度採用 幼稚園教諭区分

- 質問1 保護者の方から、「先生のクラスで良かったです」「うちの子、先生のことが大好きなんです」と教えてもらった時には、教員として認められた気がして、とても嬉しかったです。
- 質問2 可能性に満ちた子供たちは、毎日たくさんの「できた!」に溢れています。その一つひとつの成長を共に喜び、子供たちのことをたくさん認めてあげられるよう日々意識しています。
- 質問3 子供たちが自分の思いを豊かに表現できるよう、一人ひとりの思いを丁寧に受け止められるような教員を目指します。



西脇 秀太郎 | 2023年度採用 特別支援学校教諭区分(保健体育)

- 質問1 生徒の成長を目にした時です。運動が得意でなかった生徒が、昼休み中に、授業で教えた運動遊びをして楽しんでいる姿を見た時には、大きなやりがいを感じました。
- 質問2 ICTを活用した、より実践的な授業を心掛けています。生徒が運動する姿を動画に収め、お手本動画と並べて再生し、自身の体の動かし方を客観的に分析する、体育科ではめずらしい座学の授業にも挑戦しました。
- 質問3 ベテラン教員と私の指導力には明確な差がありますが、生徒や保護者の目線からは、誰もが同じ“先生”です。その時々や流行や教育課題を的確に捉えつつ、いつまでも学び続けていきます。



松本 雅浩 | 2023年度採用 中学校・高等学校教諭区分(数学)

- 質問1 日々、生徒たちの笑顔を目にする時です。楽しく学校生活を送る生徒の姿を見ることは、何物にも代えられないものであり、私自身の活力になっています。
- 質問2 数学は、生徒たちの苦手意識が高い教科なので、コミュニケーションを重視した「双方向の授業」を心掛けています。こうした関わり合いが、生徒たちの「明日も学校に行きたい」という思いにつながればと思っています。
- 質問3 神戸市の教員は、自校のみならず各校を越えてのつながりも強く、学び続けるための環境が整っています。学び続けることで、生徒たちと共に成長できる教員を目指します。



藤高 秀蔵 | 2023年度採用 中学校・高等学校教諭区分(工業)

- 質問1 生徒がより理解できるよう、より楽しく学ぶことができるよう、授業準備には力を入れています。その分、生徒から好評を得られたときには、とても大きなやりがいを感じます。
- 質問2 生徒たちは、私が授業で事例として紹介した建築物へ、休日に見学に訪れるなど高い意欲を持っています。生徒たちの興味を引く授業を展開することで、未来につながる引き出しを増やしてあげられるように心掛けています。
- 質問3 年を重ねても、常に現状に満足することなく学び続けられる教員を目指しています。



西田 真菜 | 2023年度採用 養護教諭区分

- 質問1 緊張したり、不安を抱く子供たちを、安心へと導けるような関わり合いを心掛けているので、保健室から教室に戻るときの「ありがとうございました」の一言と笑顔が、何よりのやりがいです。
- 質問2 子供の抱える困り感を適切に見極めるために、一人ひとりとゆっくり丁寧に関わることを心掛けています。笑顔と言葉がけて、子供たちを不安から救ってあげられたらと思っています。
- 質問3 子供や保護者、同僚から「先生がいれば大丈夫」と安心して任せられる教員を目指しています。専門職として、将来にわたって自己研鑽に励みます。



松本 理沙 | 2023年度採用 栄養教諭区分

- 質問1 教科と関連した、食に関する指導で、用意した食教材に子供たちが目を輝かせ、学習に一段と熱心に取り組む姿を見た時です。試行錯誤を重ねた授業だったので、大きな達成感がありました。
- 質問2 常に様々なことに興味を持ち、知識を吸収することで自身の考え方の幅を広げられるよう努めています。意外なことが給食や食育に関連しており、日々の自己研鑽につながっています。
- 質問3 常に専門性を磨き、子供たちに対して、食べ物や食文化について楽しく伝えられる教員を目指しています。